

学科・専攻教育改善委員会(FD 研修会)議事録
(大学院科目の部)

日時: 2009年3月17日, 15:40~17:55

場所: 都市システム工学科東棟(S2棟)3階 会議室

出席者(敬称略): 福澤, 安原, 横山, 小柳, 沼尾, 呉, 井上, 金, 山田, 小峯, 寺内, 原田, 村上, 田名部, 金澤, 木村, 石川

欠席者(敬称略): 三村, 横木, 桑原, 藤田

議事

(1) 後期大学院科目の点検と評価

担当者が資料に基づいて報告した。主な質疑応答を付記する。

(a) 建築デザイン学特論(寺内)

受講者は4名と少ない状況であった。

学生はあまり基礎的な文献を読んでいない印象がある。

(b) 地震工学特論(井上)

単位を取得できたものはいなかった。

授業内容を改善する予定。

配布資料の鮮明度を向上させる。

履修者ゼロではないので、欠試、取りやめも記入する。

(c) 応用水理学特論(信岡)

受講者数が少ないのが気になる。就職活動の影響が大きくなっている。

配布資料が改善された

(d) コンクリート工学特論(福澤)

履修者は、昨年度より増えたが、取止めなど脱落する者が多かった。

成績分布の不合格者2名は、Eの欄に記載する。

(e) 交通計画特論(山田)

履修者数がやはり少ない。学生の発表を講義内容に取り入れ、好評である。

学会誌とか学会が出している論文集を題材とすることによって社会の要求に対応。

(f) 防災地盤工学特論(安原)

取止め者が多かった。11~12月にかけて、休講などがあったためと考えられるので、次年度に改善したい。

(g) 水質工学特論(藤田)

特に問題なし。

(h) 環境工学特論(三村)

資料なし。後日資料を回覧。

(i) 工学英語(Tim Toole, 大津, 横山)

授業実施状況の紹介がなされた。TOEIC受験への意欲喚起に有効。

アルク社のe-Learningが有効であるが、学内から見えない。

工学部の学生は誰でもできる環境。

H21年度は非常勤講師の予算がないので、この授業はない。

全体: 大学院の教育目標はない 項目Dの最後の表は空欄とする。

(2) 都市システム工学特別研究II, 都市システム工学特別演習IIの各グループからの報告

各研究グループから資料に基づいて説明があった。構造グループは、口頭で説明の後資料を回覧した。

(3) 全体討論

議論のテーマ：「最近の各学年の学習履修状況および単位取得状況に関する情報交換」

近年、高校における授業履修科目選択の自由度の向上や講義内容の変化に伴い、以前と比べて学生の基礎学力に変化があるようである。一例として、高校時代に物理を履修せずに入学してくる学生もいるなどの事実がある。それに伴い、学生の必修基礎科目の単位取得状況や選択科目の履修状況にも、以前と比べて低調になっている状況が認められる。そこで、今回は1～4年生までの各学年の学習履修状況および単位取得状況について情報を共有し、学科全体としての指導方針について議論を行った。

主な議論を箇条書きにまとめる。

- ✓ 実際、学生の受講態度が変化してきていると実感する。
- ✓ 授業中の発言や授業後の質問が極めて少ない。
- ✓
- ✓ 講義だけではなく、測量実習のようなグループ活動的な内容でも、取り組みが低調である。
- ✓ 演習することによって訓練すればできるが、講義を聴いて自分でできるようになるのが苦手な学生が多くなっている。
- ✓ How to は習得できるが、概念を理解するということが苦手なのではないか。本質を学んでいない状況がある。
- ✓ 「解き方を教えて欲しい」と言われる。
- ✓ 演習の位置づけ、教員からのメッセージを伝えるべきである。
- ✓ 予習に対する仕掛けが大切ではないか。
- ✓ 予習・復習のための課題を提示している教科もある。
- ✓ 復習に対する仕掛けも大切ではないか。
- ✓ 序論など1年生の科目で、受験勉強的学習を改善するきっかけを与えるべきではないか。
- ✓ 読書をしていないことが影響しているとも言われている。
- ✓ 学習以外の状況を把握する必要がある。
- ✓ 大学受験勉強のスタイルと大学の学習スタイルは違う。
- ✓ 抽象と具象の話の思考の運動が極めてできていない。
- ✓ 本を読んでいない。本が読めない子がいる。本を読ませる工夫。
- ✓ 大学院の履修に関して、システムづくりが必要である。
- ✓ 広く学ぶ仕組み作りをすることが必要。認証評価に対する準備が必要。
- ✓ ポートフェリオで実情を把握する。

(4) 閉会のあいさつ

小柳専攻長からあいさつがあった。

指導計画書を作成中であり、H21年度より実施する予定である。個々の授業をやっていると議論が発散するので、テーマを絞ったFD研修会にした方がいいと考える。次年度は配慮してもらいたい。授業ファイル未完成の人は必ず完成させてください、

以上
(記録:村上)